

2023年3月期第1四半期決算説明

2022年8月5日
いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括
2. 2023年3月期第1四半期実績

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

常務執行役員
企画・財務部門統括代行、
グループCFO

中俣 直人

1. 全体総括

1. '23年3月期第1四半期実績

(前年同期比)

- CVは、上海ロックダウン影響による部品供給不足のため、台数減。
- LCVは、部品供給の改善により台数増。
- 損益は、LCVのVOL増及び為替好転あるも、資材費・物流費の高騰により減益。
(計画比)
- 損益は、為替環境の好転等により想定を上回った。

2. '23年3月期見通し

- 海外市場は、CV・LCV共に引き続き需要好調。
- CVにおける半導体供給の正常化は、想定より時間を要する見込み。通期での損益インパクトを最小限に留めるべく、各種施策を検討中。
- 損益見通しは変更せず。

企画・財務部門統括代行の中俣でございます。

まずは全体を総括して説明いたします。

当第1四半期について、CV販売台数は、上海ロックダウンなど部品供給不足の影響により、先期を下回りました。一方、LCV販売台数は部品供給が改善したこともあり、先期を上回りました。

損益は、LCVの販売増加および為替好転による増益があったものの、資材費・物流費の高騰が響き、当第1四半期は増収減益となりました。

なお、5月に公表した計画に対しては、為替好転により想定を上回っております。

23年3月期の見通しについて、海外市場は、CV・LCV共に好調が続いています。一方で、CVにおける半導体供給の正常化は、想定よりも時間を要する見込みであり、目下、半導体不足による損益インパクトを最小限にするべく、各種施策を検討中でございます。5月に公表した通期の損益見通しについては、現時点では据え置きとさせていただきます。

3. サプライチェーン混乱による影響

	'23/3期 -1Q	'23/3期-2Q以降
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体供給不足は継続 ・上海ロックダウンの影響により、大小トラック部品供給に支障 ・ライン稼働停止による減産影響発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・上海ロックダウン影響は解消済み ・半導体供給は、下期中の正常化を見込む
タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の部品で供給に支障あるも、稼働に大きな影響なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、一部の部品で供給が不安定な状況が続くも、高水準の生産計画を予定

サプライチェーンの混乱による影響について、説明いたします。

日本では、第1四半期において、上海ロックダウンを受け5日間ライン稼働を停止するなど、CVに減産影響が発生しました。現在ではこの影響は解消されています。

一方半導体不足については、正常化するまでに想定より時間を要する見込みです。現時点では、23年3月期の下期中の正常化を見込んでいます。

タイでは、特定の部品で供給に支障はあるものの、ライン稼働には大きな影響を及ぼしておりません。今後も高水準の稼働を予定しております。

全体総括 '23年3月期第1四半期実績

グローバル販売台数(千台)		'23/3-1Q	'22/3-1Q	対前年比増減	
CV計	国内CV	11	*17	▲6	▲35%
	海外CV	66	*62	+4	+7%
	CV計	77	*79	▲2	▲2%
LCV計	タイLCV	48	37	+11	+30%
	輸出LCV	52	48	+4	+9%
LCV計		100	85	+15	+18%
合計		177	164	+13	+8%

決算実績(億円)

*'22/3-1Q UDトラック販売台数含む (国内CV2千台、海外CV2千台、CV計4千台)

売上高	*6,882	5,296	*+1,586	+30%
営業利益	548	593	▲45	▲8%
経常利益	588	622	▲34	▲5%
当期利益	361	464	▲103	▲22%

*UDトラック取り込みによる売上高影響：+793億円

グローバル販売台数は、上海ロックダウンによる影響もあり、CVは先期を下回りました。一方で、LCVは先期を大きく上回る結果となりました。

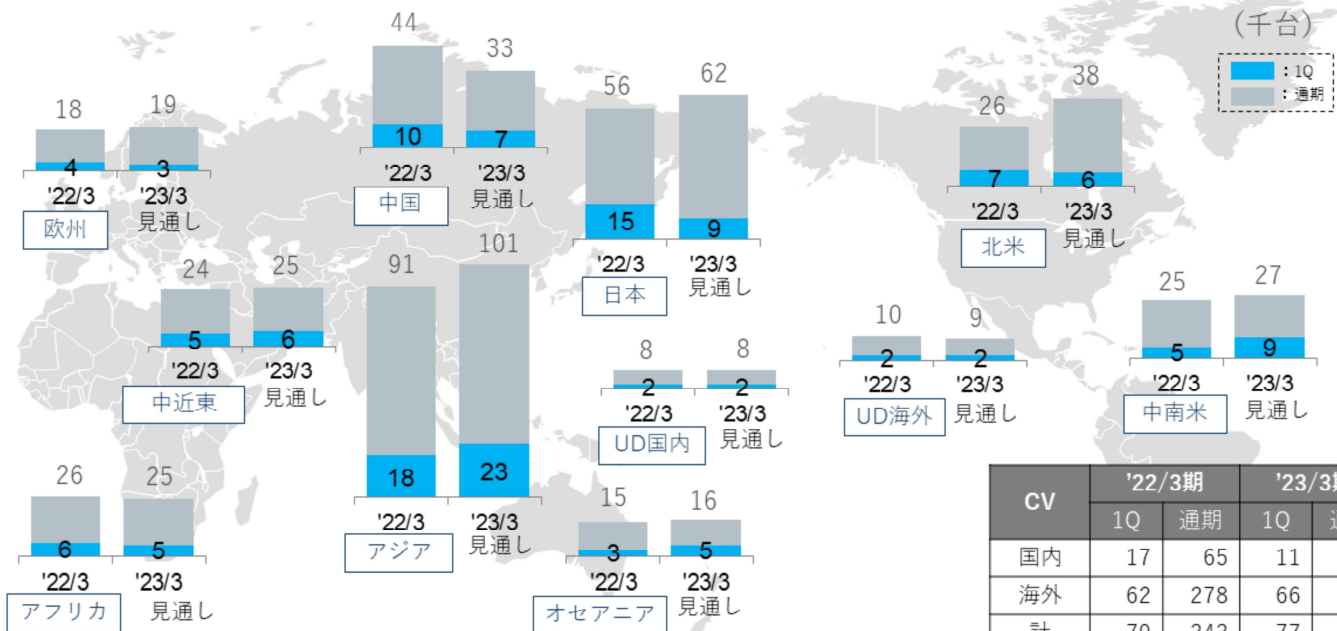
なお、先期の決算実績にはUDトラックの業績は含まれていませんが、先期のグローバル販売台数には、UDトラックの4~6月分の台数が反映されています。

売上高につきましては、販売台数の増加に加え、UDトラックの取り込みもあり、先期から1,586億円の増収となりました。一方で、営業・経常・当期利益は、資材費及び物流費の高騰による減益影響が大きく、先期から減少しております。

2. 2023年3月期第1四半期実績

CVグローバル販売台数実績

■ 需要は旺盛も、上海ロックダウンの影響もあり、1Q販売台数は先期並にとどまる



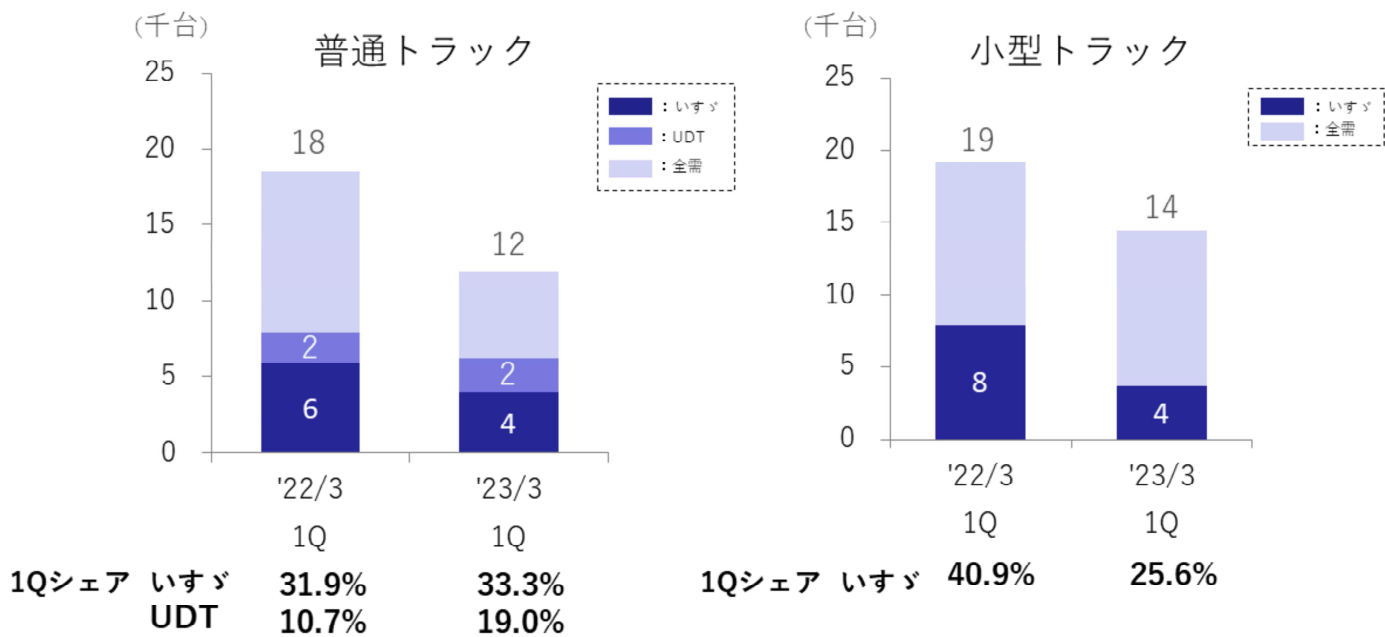
8 *国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

続いて、CVグローバル販売実績について説明いたします。

CVグローバル販売台数は、先期から2千台減少の77千台となりました。旺盛な需要が続いているものの、上海ロックダウン等による部品供給不足もあり、販売台数は先期並みとなりました。

国内全需・シェア実績 -普通トラック/小型トラック-

- 全需は各社の生産制約により前年割れ、普トラは、いすゞ/UDトラックス共にシェアを伸ばす
- 小トラは、生産制約の影響大きく、シェアを落とす



国内全需とシェア実績です。

全需は、普通トラック・小型トラックともに各社の生産制約を受けて、前年割れとなりました。シェアにつきましては、普通トラックは前年を上回る33.3%となりました。

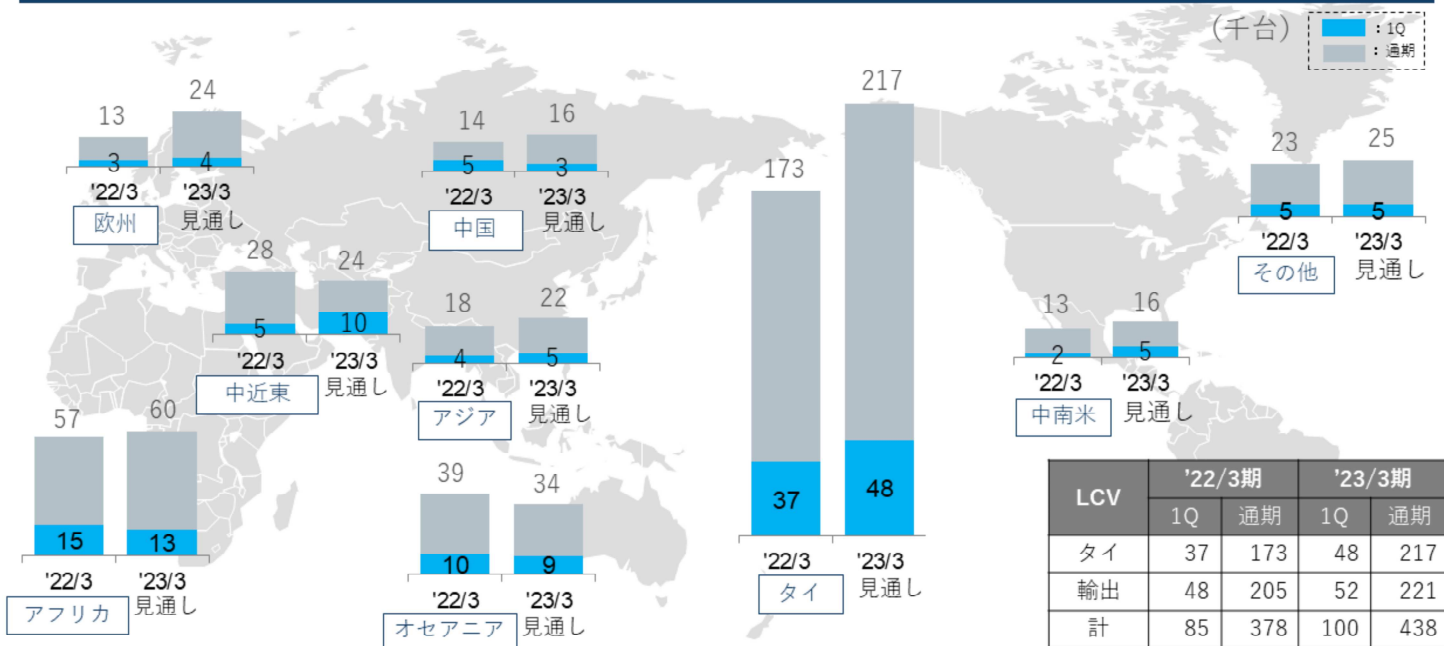
先期より連結子会社化したUDトラックスは、グループの中での販売の棲み分けと目標の明確化により、大型トラックに集中して拡販を進めたことで、シェアを大きく伸ばしております。

一方で、小型トラックは、生産制約によりシェアを大きく落としております。

なお、全需の通期見通しは、普通トラック・小型トラックともに引き続き未定といたします。

LCVグローバル販売台数実績

■ 旺盛な需要を受け、タイを中心に先期を上回る販売台数を記録



10 *LCV：タイ出荷

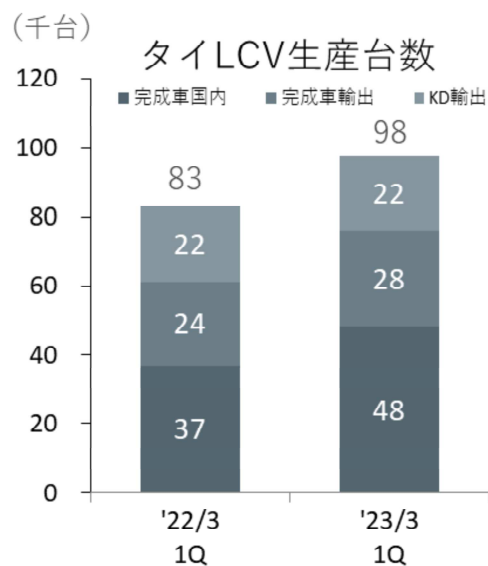
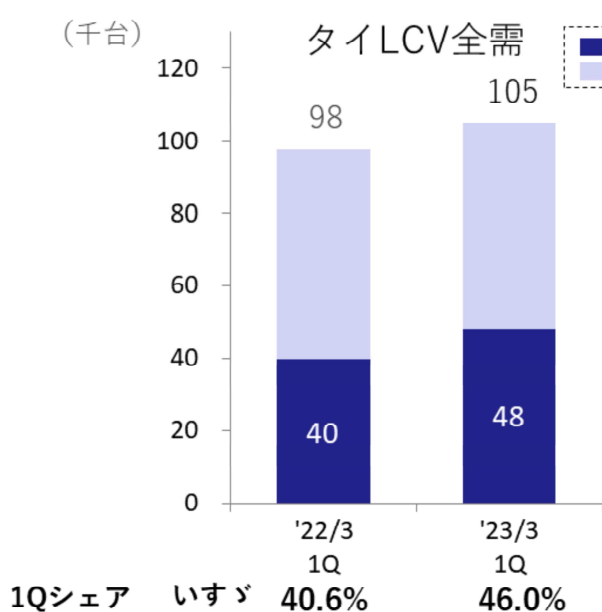
Copyright(C) 2022 Isuzu Motors Limited All rights reserved

LCVグローバル販売台数です。

多くの市場で、旺盛な需要が続いております。部品不足により一部の地域でVOLが減少したものの、グローバル販売台数はタイ国内・輸出ともに増加し、先期比15千台増加の100千台となりました。バックオーダーを多数抱えていることもあり、今後も高水準の生産計画を予定しております。

タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績

- 一部の部品で不安定な供給が続いており、1Q全需は微増に留まる
- 部品供給の改善により、生産台数・シェア共に先期を上回る



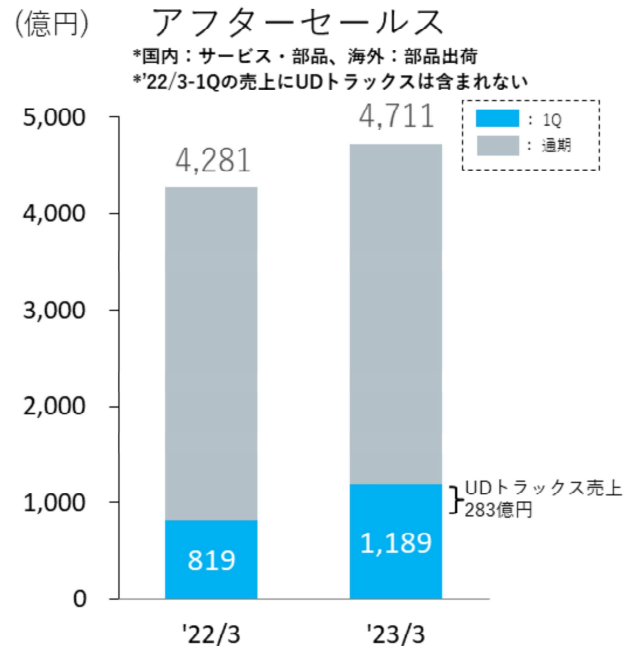
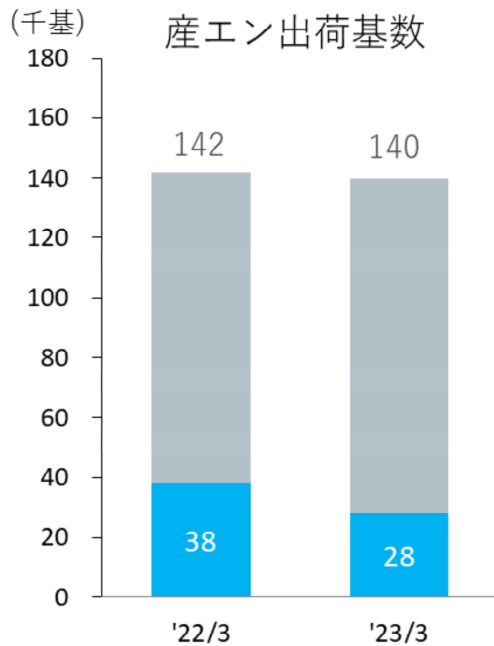
タイLCV全需・シェア、及びLCV生産台数実績です。

全需は、一部の部品で不安定な供給が続いていることもあり、先期から微増にとどまりました。シェアは、他社の生産制約影響もあり、先期を上回りました。

生産台数は、部品供給が改善していることにより、タイ国内向け完成車を中心に増加しました。

産業用エンジン出荷/アフターセールス売上

- 産エン：中国における建機需要減速の影響により、先期を下回る
- アフターセールス：UDトラックの収益取り込みに加えて、国内・海外も増加しており、先期を上回る



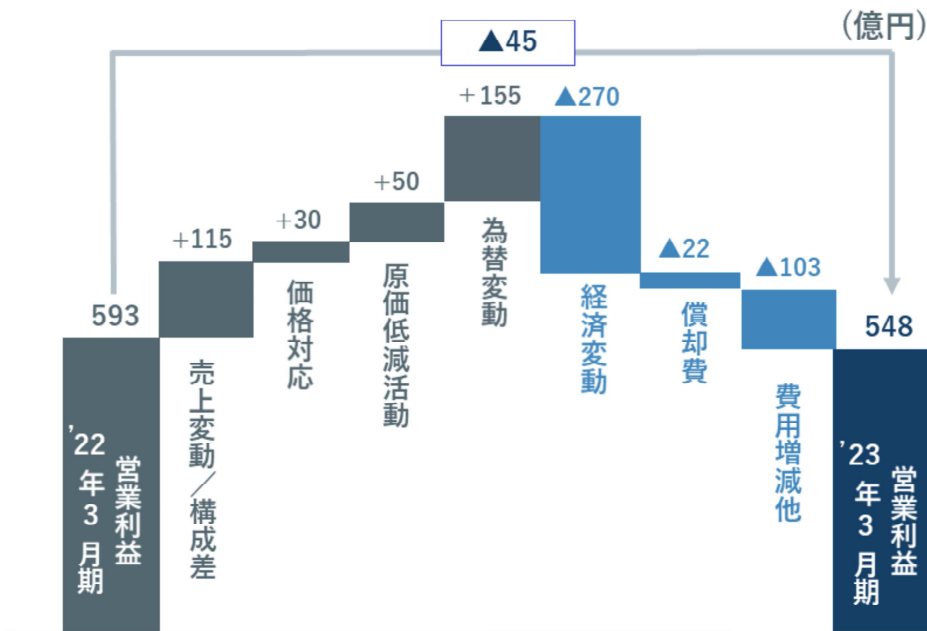
産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジン出荷基数は、中国建機需要の減速により、先期を下回りました。

アフターセールス売上は、UDトラックの4月から6月の売上を取り込んだこともあり、大幅に増加しています。また、いすゞのアフターセールス売上も、国内・海外共に順調に増加しております。

'23年3月期第1四半期営業利益実績 増減分析 -前年同期比-

■ VOL増加、原価低減活動及び為替好転あるも、経済変動及び費用増により減益



為替実績	'22/3期	'23/3期
USD/JPY	109.4円	129.8円
THB/JPY	3.49円	3.77円
AUD/JPY	84.3円	92.7円

内訳	'23/3期
売上変動/構成差	+115
国内CV	▲70
海外CV	+35
LCV	+95
その他	+55
為替変動	+155
USD	+70
AUD	+10
THB他	+75
費用増減	▲103
開発費	▲87
労務費	▲20
一般経費他	+4

続いて、営業利益の増減分析です。

VOL増加、原価低減活動の推進、及び為替好転による増益があったものの、資材費・物流費の高騰により、減益となりました。

為替実績は表に記載した通りでございます。

'23年3月期第1四半期実績 -前年同期比-

(億円)	'23/3-1Q	'22/3-1Q	対前年比増減	
売上高	6,882	5,296	+1,586	+30%
営業利益	548	593	▲45	▲8%
経常利益	588	622	▲34	▲5%
当期利益*	361	464	▲103	▲22%

営業利益	548	経常利益	588
持分法による投資損益	+9	投資有価証券評価損、固定資産売却損等	▲4
為替差損益	+18	法人税等	▲119
その他	+13	非支配株主に帰属する当期純利益	▲104
経常利益	588	当期利益*	361

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の説明です。

当期利益は、経常利益588億円から固定資産売却損、法人税等、及び非支配株主に帰属する当期純利益を差し引き、361億円となりました。

私からの説明は以上でございます。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU